

緊急サポートネットワーク事業の状況

都道府県	緊急サポートの問い合わせ先	実施地域(4月時点)
北海道	NPO北海道子育て支援フォーカス ☎011・815・8320	札幌市
青森	県保母連合会 ☎0120・918・800	青森市など3市
岩手	NPOいわて子育てネット ☎019・652・8836	盛岡地区
山形	NPOやまがた育児サポートランド ☎023・645・6590	最上地区
埼玉	じつみ会 ☎048・862・6650	さいたま市など3市
千葉	県社会福祉協議会 ☎043・245・1271	千葉市、松戸市中心
東京	都社会福祉協議会 ☎03・3258・7171	町田市
神奈川	県児童福祉協議会 ☎0466・28・0901	県内全域
新潟	NPOフューチャー・マン・サポートセンター ☎025・294・0415	県内全域
富山	日本保母協会富山支部 ☎076・424・6050	県内全域
石川	県労働福祉協議会 ☎076・284・4599	県内全域
福井	ふくい女性団体 ☎0776・41・4254	福井市など6市
山梨	ひかりの丘 かんがひポケット ☎055・255・3551	県内全域
静岡	NPO生活共生ネットワーク ☎054・209・0899	静岡市、浜松市
愛知	NPO市民フォーラム21・NPOセンター ☎052・977・4483	名古屋地区など3地区
三重	NPO子どもサポートセンター ☎059・232・0270	県内全域
大阪	府社会福祉協議会 ☎06・6782・9473	柏原市
和歌山	NPOこも子育て応援デザインルーム ☎0739・25・6660	県内全域
鳥取	県社会福祉協議会 ☎0852・32・5997	鳥取市
岡山	県労働福祉協議会 ☎083・233・1059	県内全域
徳島	県労働福祉ネットワーク ☎088・611・2213	県内全域
高松	県ボランティア協会 ☎0870・2559・9385	徳島市
熊本	NPOチャイルドケアサポートみらくる ☎098・351・8588	県内全域
鹿児島	NPOサポートハウス21 ☎099・250・5680	県内全域

上記以外の実施団体の例

和歌山	NPO病児保育を作る会 ☎07・483・3027	和歌山県、和歌山市、田辺市など
東京	NPOフローレンス ☎03・3206・2804	中央区、江東区
全国	全国病児保育協議会 ☎097・567・0050	http://www.florence.or.jp/

病児保育 広がる場

【取材】病児保育の場が広がる。三浦市、川崎市、和歌山県など、NPO法人(非営利性組織)が中心となり、病児保育の場が広がっている。病児保育とは、病児を預かることで、保護者が安心して仕事や家事ができるようにするサービスだ。現在は、病児を預かる場所が限られており、保護者が安心して仕事や家事ができないという声が多い。NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。三浦市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。川崎市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。和歌山県では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。

【取材】病児保育の場が広がる。三浦市、川崎市、和歌山県など、NPO法人(非営利性組織)が中心となり、病児保育の場が広がっている。病児保育とは、病児を預かることで、保護者が安心して仕事や家事ができるようにするサービスだ。現在は、病児を預かる場所が限られており、保護者が安心して仕事や家事ができないという声が多い。NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。三浦市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。川崎市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。和歌山県では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。



医療機関との連携が課題に

【取材】病児保育の場が広がる。三浦市、川崎市、和歌山県など、NPO法人(非営利性組織)が中心となり、病児保育の場が広がっている。病児保育とは、病児を預かることで、保護者が安心して仕事や家事ができるようにするサービスだ。現在は、病児を預かる場所が限られており、保護者が安心して仕事や家事ができないという声が多い。NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。三浦市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。川崎市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。和歌山県では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。

【取材】病児保育の場が広がる。三浦市、川崎市、和歌山県など、NPO法人(非営利性組織)が中心となり、病児保育の場が広がっている。病児保育とは、病児を預かることで、保護者が安心して仕事や家事ができるようにするサービスだ。現在は、病児を預かる場所が限られており、保護者が安心して仕事や家事ができないという声が多い。NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。三浦市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。川崎市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。和歌山県では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。

【取材】病児保育の場が広がる。三浦市、川崎市、和歌山県など、NPO法人(非営利性組織)が中心となり、病児保育の場が広がっている。病児保育とは、病児を預かることで、保護者が安心して仕事や家事ができるようにするサービスだ。現在は、病児を預かる場所が限られており、保護者が安心して仕事や家事ができないという声が多い。NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。三浦市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。川崎市では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。和歌山県では、NPO法人が中心となり、病児保育の場を広げようとしている。

▼病児保育と病後児保育 発熱やおう吐などの症状があり、通常の施設が受け入れられない子供を預かるのが病児保育で、症状が落ち着いたものはかの子供に預かるのが病後児保育だ。ただ子供の体調は悪化しやすく、病児と病後児を併用して対応するのは難しい。全国病児保育協議会の調査(2003年)では、病児と病後児の両方を受け入れている施設は72.6%に上った。その多くは託児所や保育園に併設されている施設で、発熱時に対応できる施設を整えている。



仲介します

育児病児

「育児病児」は、子どもが病気を患った場合に、親が休職して子どもを養育する状態を指す。子どもが病気になると、親の生活は大きく変わってしまう。仕事を休むわけにはいかない、子どもを預けたいが、お金を払って預けるわけにはいかない、親の収入が減る、子どもが病気を患ったときに、親が休職して子どもを養育する状態を指す。

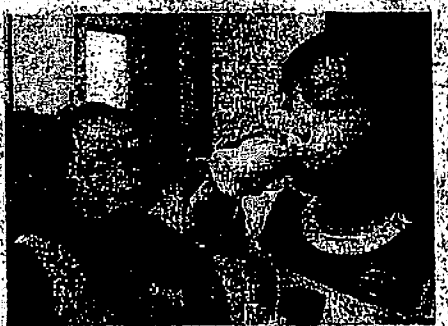
「11日以上休んだ」28%
日本労働研究機構（朝・労働政策研究・研修機構）が、就学前の子どもを持つ、働く女性1005人に実施した調査（2003年）によると、過去1年で子どもの病気のため休んだ日数は「11日以上」が最も多い。1～3日（28%）が最多。「1～3日」（28%）が最も多い。「1～3日」（28%）が最も多い。

急に熱でも休めないママに

●国が支援事業

神奈川県の子育て支援センターは今年1月、県民（3）千人を対象にアンケート調査を実施し、結果を発表した。その調査結果から、仕事と育児の両立が困難なママの現状が浮き彫りになった。

「育児病児」に悩むママたち。子どもが熱を出したとき、急に休職する必要がある。しかし、仕事と育児の両立が難しい。育児病児に悩むママたちは、急に熱でも休めないママに悩んでいる。子どもが熱を出したとき、急に休職する必要がある。しかし、仕事と育児の両立が難しい。育児病児に悩むママたちは、急に熱でも休めないママに悩んでいる。



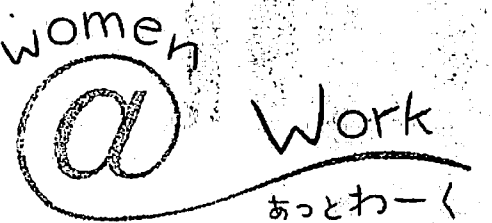
レスキニースの社員で、娘さん2人を育てながら働くママさん。育児病児に悩むママさん。レスキニースの社員で、娘さん2人を育てながら働くママさん。

●東京GSZLO

育児病児に悩むママさん。レスキニースの社員で、娘さん2人を育てながら働くママさん。育児病児に悩むママさん。レスキニースの社員で、娘さん2人を育てながら働くママさん。

レスキニースの社員で、娘さん2人を育てながら働くママさん。育児病児に悩むママさん。レスキニースの社員で、娘さん2人を育てながら働くママさん。

2006年4月6日 号 読売新聞 夕刊



子供の看病でなぜ解雇！

駒崎弘樹さん

病児保育に取り組むNPO法人の代表理事

私の母は、ベビーシッターをしていて、学生時代、IT（情報技術）企業の社長をしていた私が「病児保育」にかかわることになったのは、母から聞いた話が始まりました。

4年前、母は担当していた子どもの親から、「(子ども)の預かりは、今日で最後にして下さい」と言われた。話を聞くと、子どもの看病のため「会社を休んだら、甲斐上、解雇されたから」と言う。

「病児保育」病児の時はずっとも預かってくれない。病児の子やもを安心して預けられるところは、簡単にありません。

「甲斐上、心」で、最大在籍中の11年、11企業を退社。その後、2004年、NPO法人「フローレンス」を設立。東京都品川区の次世代育成支援促進基金も受託する。26歳。(http://www.florence.or.jp/ ©2006.2006.2006.)

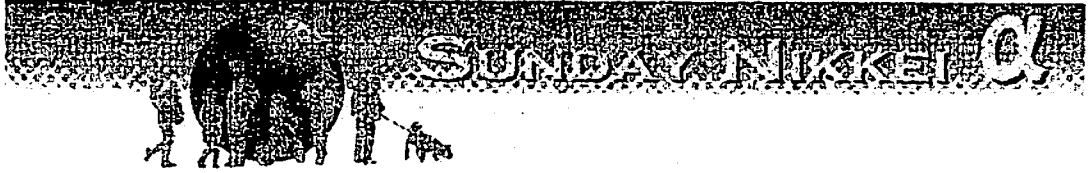


医師との連携に万全を期した。子どもを預かる前に、必ず地域の提携医の診察を受けさせることとし、預かっている間はいつでも提携医に電話で指示を仰げるようにした。

2005年4月、東京都江東区と中央区で事業を始めたところ、申込者が殺到し、現在、約300人が待ち状態だ。ある利用者からは、「以前は子どもが熱を出すと『忙しい時に暇って...』と、罪のない子どもを買っていた。おかげで今は安心して働ける」と言われ、ニーズの高さを改めて実感した。

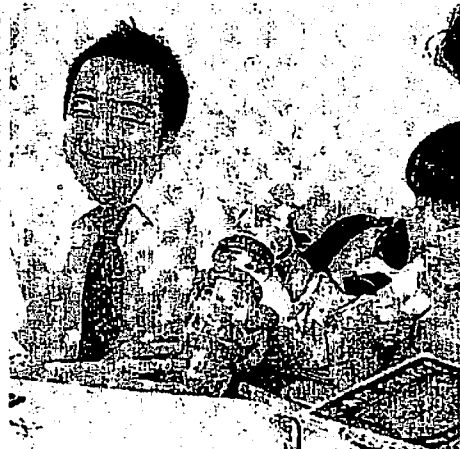


病児保育問題の根底には、育児と仕事の両立を当たり前としない社会がある。地域力を活用してこの問題を克服したい、そんな意気込みがある。



仕事を持つ親に代わって、発熱などで通常の施設が受け入れない子供を預かる病児保育。ニーズは高いが、「全国に約五百ある病児保育施設のうち九割が赤字経営にある」と、東京都内で病児保育を展開する特定非営利活動法人（NPO法人）「フローレンス」の代表理事を務める駒崎弘樹氏は指摘、「経済的に自立できるビジネスモデルが病児保育には必要」と強調する。

NPO法人フローレンス代表理事 駒崎 弘樹氏(26)



「IT（情報技術）企業が脚光を浴び始めた二〇〇一年、慶応大学在学中に友人とITベンチャーを起業。一時は株式会社公開も考えたが、母親から聞いた思いがけない話に「社会に役立つ仕事をしたい」と病児保育の道を選んだ。母親の友人が、病気になる子供

病児保育に新手法 主婦ら活用し運営

の病気で会社を休んだために解雇された。「子供が熱を出すのは当たり前なのに、思うように看病できない」とは。ITベンチャーで培ったビジネスモデル考案のノウハウを生かし、収益面で自立できる病児保育の運営方法を模索。特定の施設を持たず、子育て経験のある主婦らが自宅です子供を預かるシステムを考案し、施設の家賃や人件費などを大幅に圧縮した。さらに料金体系でも月ごとの会費制にすることで、安定的に収入を得られるようにした。自治体の補助金に頼る施設が多い中、フローレンスは補助金をもらわず事業収入などで運営する異色の存在だ。

「地域ぐるみで子供を世話することにもこだわらる。会費から子供が発熱したとの連絡を受ければ、「こどもレスキュー隊」として登録する最寄りの主婦が駆けつけ、子供をかかりつけの小児科に連れて行き、親の仕事が終わるまで自宅で子供を預かる。「助け合いながら子供の面倒を見る」ことで、地域社会での若い世代と中高年世代の橋渡しにつながればと考える。

二年間の準備を経て、昨年四月に事業を始めた。現在は東京都江東区と中央区で約六十五人が会員登録し、百五十人が入会待ちの状態にある。年内には品川区などにもサービス圏を拡大し、将来的には東京二十三区全域で事業展開する計画だ。

■敬称略

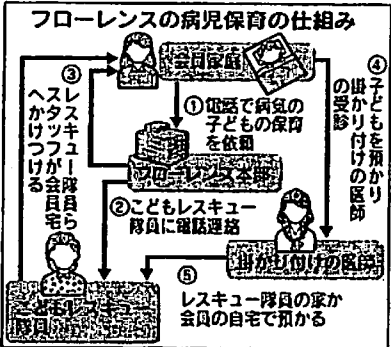
「拝見」 子育て支援 民間編

フローレンス

東京都江東区の民家。「こどもレスキュー隊」夕方六時、熱が下がりがりホイルで遊んでいた祐ちゃん(一)は窓の外に母親の姿を見つけると、玄関に向かって歩み出した。大田区内の社会福祉法人で仕事を終えた母親(30)は「どうしても抜けられない会議があった」と祐ちゃんを抱き上げた。この家の主婦で「この日、祐ちゃんを預かった内田きち子さん(80)が横でほほ笑んでいる。

内田さんは特定非営利活動法人(NPO法人)フローレンス(03・3206・2604)の預かりつてもらえる。

病気の子供の母親代わり



親からの依頼の電話は、朝七時から受け付け、連絡があると、スタッフが会員の自宅へ出向いて子どもを引き取り、掛かり付けの医師の診察を受けさせたうえで、内田さんらレスキュー隊員の家や会員の自宅など、親が仕事を終えて戻るまで面倒をみる。

レスキュー隊員は子育てや保育経験を持つベテランスタッフが健康な子どもを一時保育の権利



「こどもレスキュー隊員」は自宅などで病気の子どもを預かる(東京都江東区)

電話一本、仕事と両立支援

子どもを預け、子どもの年齢や既往症、サビスの程度に応じて、子ども一人当たり月五千〜二万円に設定している。

フローレンスの駒崎弘樹代表(27)は「病児保育の問題は、子育てと仕事の両立が難しい社会の象徴だ」と指摘する。全国的にも病児保育をする施設や団体はまだ少ない。本日は子どもが熱を出したら、仕事を休んで看病するのが一番いいはず」と駒崎さん。そうした就業環境が日本で整う日まで、「全国で病児保育の基盤づくりに力を注ぎたい」と意気込んでいる。(水原弘貴)

子育て支援に力を注ぐ自治体に続き、民間の取り組みを紹介する。

東京